

将来貨物量推計について

将来貨物量推計がなぜ必要か

1

(1) 港湾計画とは



港湾管理者(北九州市)が、今後の北九州港の開発整備や保全の方向を示す計画。
概ね10年に一度、改訂として見直しを行う。

(2) 港湾計画で定めること



- ① 港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全の方針
- ② 港湾の取扱貨物量、船舶乗降客数、その他の能力に関する事項
- ③ 港湾の能力に応ずる水域施設、係留施設、その他の 港湾施設の規模及び配置に関する事項
- ④ 港湾の環境の整備及び保全に関する事項
- ⑤ その他港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に関する重要事項

(出典: 港湾法施行令第1条の4)

将来貨物量推計がなぜ必要か

2

(3) 将来貨物量推計の役割

長期構想
策定

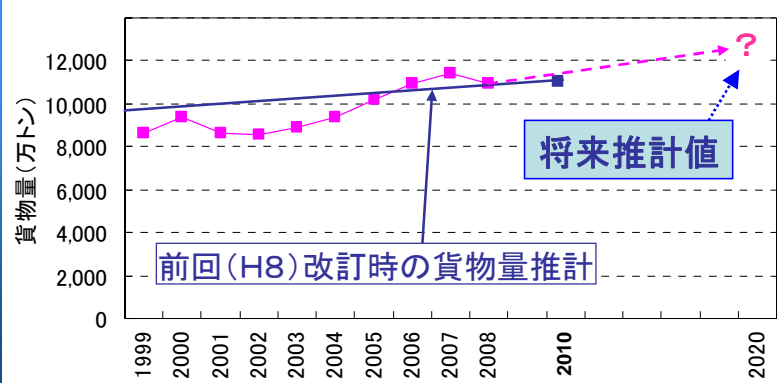
港湾計画
策定

港湾施設
整備
(適正な
機能確保)

西日本
地域の
活性化

① 港湾の能力に対応した
水域施設、係留施設など
施設の規模や配置を
検討する

② 港湾の能力を表す将来
取扱貨物量を推計する
(目標値)



北九州港の将来貨物量推計

3

(1) 推計方法(手順)

現在取扱貨物

将来追加貨物

- ・新規企業の立地
- ・背後圏の拡大

・社会経済指標の検討

・需要要因分析
(企業アンケート、ヒアリング等)

・過去の取扱実績

・企業立地動向
・東九州道整備効果
・自動車関連企業等
の物流動向

北九州港将来取扱貨物量 推計値

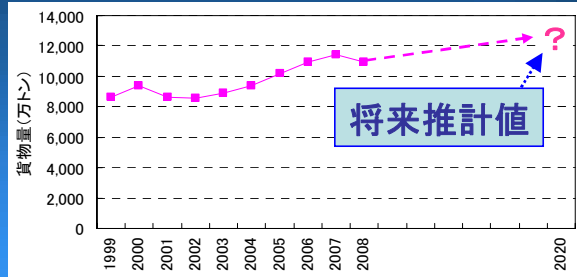
北九州港の将来貨物量推計

4

(2) 社会経済指標の検討

① 前提条件

- ・公的機関が発表した将来予測値を参考にする。
- ・国土交通省が実質GDP成長率を予測(平成16年5月)している



	2011年 ~2015年	2016年 ~2020年
GDP成長率 (ハイケース)	1.5%	1.3%
GDP成長率 (ローケース)	0.8%	0.6%

② 検証

北九州港取扱貨物量と全国実質GDPが相関するか

輸送機関は貨物や旅客を輸送することで付加価値を創出し、国内総生産に貢献している

注) ハイケースとローケースの違い
(港湾における料金や時間等のサービス水準の違い)

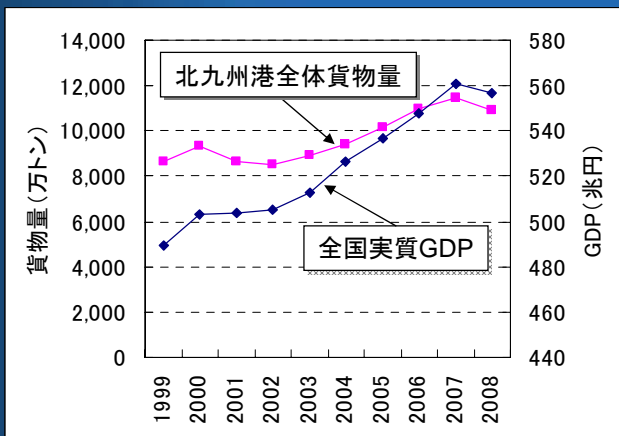
- ・ハイケース: サービス水準が向上
- ・ローケース: サービス水準は現状維持

(出典: 国土交通省交通政策審議会第10回港湾分科会「港湾取扱貨物量の見通しの試算結果について」平成16年5月)

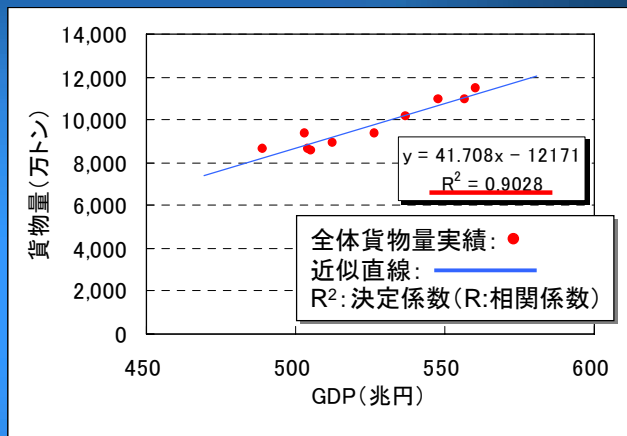
北九州港の将来貨物量推計

5

③ 全国実質GDPの活用



北九州港全体貨物量と全国実質GDPの推移



北九州港全体貨物量と全国実質GDPの相関

$0.49 \leq R^2 \leq 1.0$: 強い相関

※北九州港全体貨物量と全国実質GDPには強い相関関係がある。したがって、全国実質GDPの将来値は、将来の北九州港の取扱貨物量を算定する際の指標の一つと考えることができる。

北九州港の将来貨物量推計

6

④ 将来貨物量概数

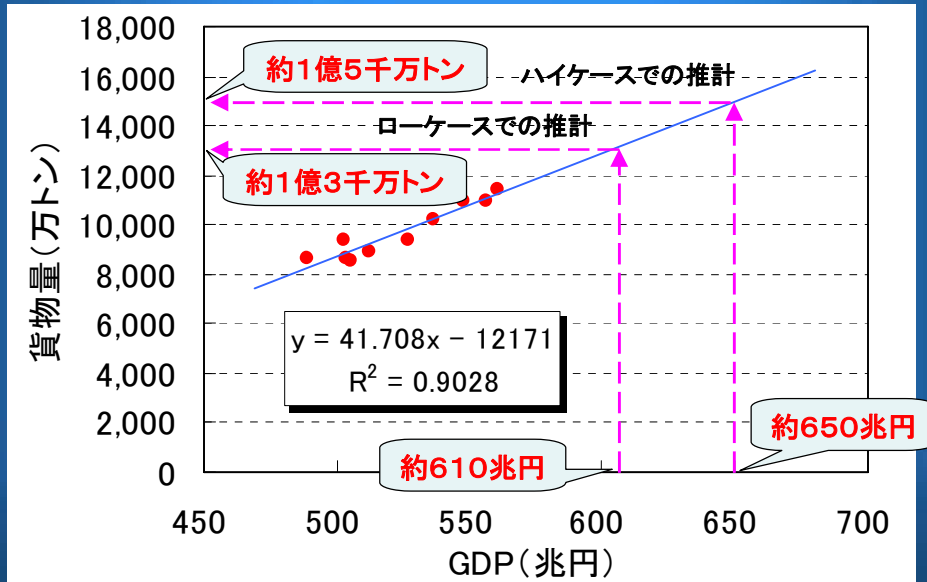
全国の将来実質GDP(2020年(H32)値)を試算 ハイケース:約650兆円

ローケース:約610兆円

北九州港の全体貨物量を試算

ハイケース:約1億5千万トン

ローケース:約1億3千万トン



北九州港の将来貨物量推計

7

(3) 需要要因分析

現在取扱貨物

将来追加貨物

- ・新規企業の立地
- ・背後圏の拡大

・社会経済指標の検討

・需要要因分析
(企業アンケート、ヒアリング等)

・過去の取扱実績

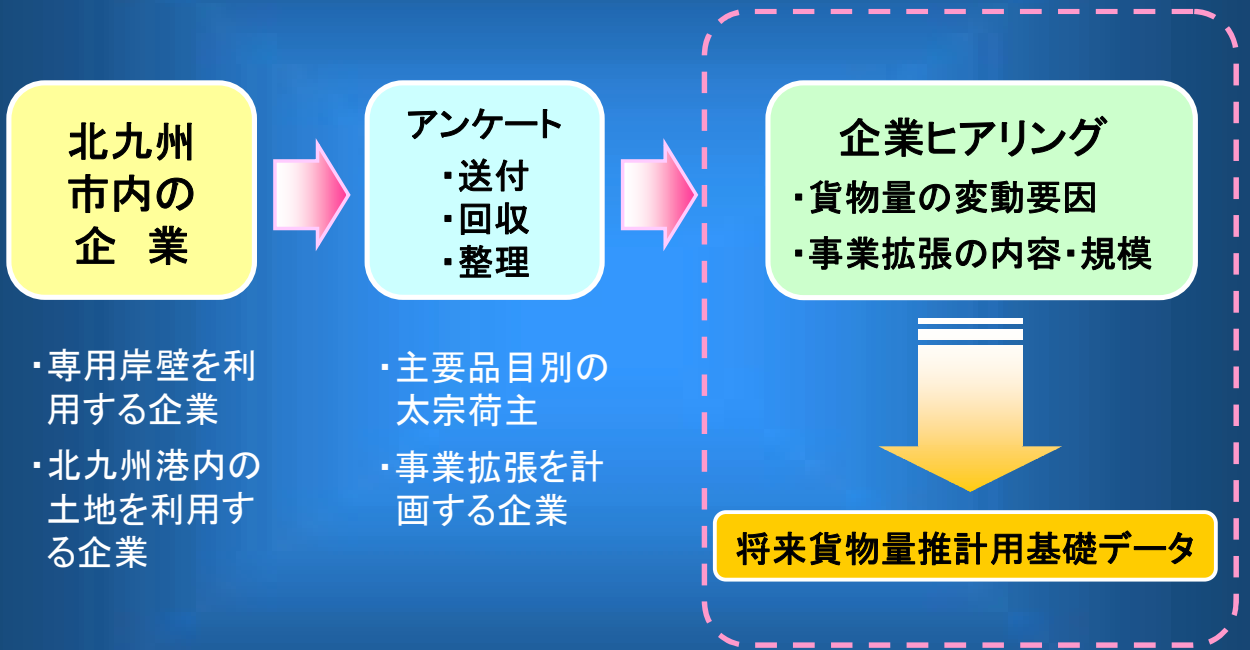
- ・企業立地動向
- ・東九州道整備効果
- ・自動車関連企業等の物流動向

北九州港将来取扱貨物量 推計値

北九州港の将来貨物量推計

8

①企業アンケート結果の活用



北九州港の将来貨物量推計

9

②企業アンケートについて

企業アンケート概要

	北九州港の利用と土地利用に関するアンケート調査	北九州港の利用と専用岸壁利用に関するアンケート調査
調査目的	北九州港内企業の土地利用や港湾利用の現状及び将来計画を把握する。	
調査期間	平成21年1月～3月	
対象	北九州港内に土地を所有又は利用している企業145社	北九州港内に専用岸壁を所有又は利用している企業45社
調査方法	郵送配布・郵送回収	
回答数	116社 (回収率80%)	41社 (回収率91%)

企業アンケート結果(抜粋)

- 今後の事業計画について(回答116社)
 - ◆事業拡大 …… 9社
 - ◆現状維持 …… 98社
- 貨物のコンテナ化について(回答116社)
 - ◆コンテナ化済み …… 12社
 - ◆コンテナ化予定 …… 2社
- ひびきコンテナターミナルについて(回答116社)
 - ◆利用している …… 10社
 - ◆利用したい …… 14社
- 改善を望む施設等について(自由回答)
 - ◆水深の深い岸壁の整備
 - ◆航路幅員の確保
 - ◆荷さばき地の確保
 - ◆公共倉庫不足の解消
 - ◆港湾施設の老朽化対策
 - ◆道路の整備と適切な管理
 - ◆アクセス道路の渋滞解消

※さらに、企業ヒアリングを実施予定

平成21年6月

平成21年7月14日 海事プレス

回復 前送



新車ハイブリッド車のインサートが引かれ、4月から電上回る台数が売れているホンダの軽自動車一種が注目

品名	単位	前年同月比	前年同月比
軽自動車	台	↑	↑
普通自動車	台	↓	↓
乗用車	台	↓	↓
トラック	台	↓	↓
バス	台	↓	↓
2輪車	台	↓	↓
その他	台	↓	↓
合計	台	↑	↑

日産自動車

今年度の生産部品出荷は18.4%増

6月稼働のロシア工場向けが底上げ

日産自動車の2009年度の海外工場向け生産部品出荷は約5万8000FEUと、前年実績を18.4%も上回る見通しだ。北米、中近東などは前年比マイナスとなるが、6月から稼働を開始したロシア・サントペテルブルク工場向けの部品出荷が出荷量全体を押し上げる格好だ。同工場向けの部品は全量がアジア／欧州間のオールウォーターサービスを利用、アジア側と欧州側でそれぞれトランシップする3パターンの輸送ルートを構築した。



ロシア・サントペテルブルク工場

ロシア工場の年間生産能力は5万台。高級セダンのティアナ、小型SUVのX-TRAILを生産する。自動車産業の集積が進んでいない同国での現地調達率は欧米などに比べて低く、出荷する部品の点数も多くなる。

同工場向けの部品は九州の苅田工場からの出荷となるため、ほぼ全量が門司港積みとなる。全量がアジア／欧州航路を活用したオールウォーターサービスを利用している。ロシア鉄道の利用に関しては、まだ情報収集を中心とした検討段階とみられる。

起用船社は3社。門司から欧州向けの直航便がないため、アジア側の港でトランシップしている。

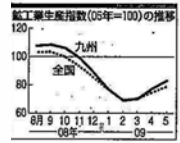
また、サントペテルブルク港がアウトポートとなるため、欧州側でもトランシップを実施している。2009年度(2009年4月～2010年3月)の日本から海外工場向けの生産部品出荷量見通しは5万8000FEU弱に達する見通し。2008年度実績に比べ、9000FEU近く増える計算だ。一方、海外の工場から日本向けの生産部品の輸入は拡大基調で推移しており、現時点では年間9000FEU規模の物量になっている。英国で生産していたキャシュカイ(日本名:デュアリス)を、日本でも生産を開始したことで07年度以降、欧州からの部品輸入が拡大。さらに08年度からは中国からの輸入が伸びている。

の芽

九州の鉾工業生産5月も増加

前年比では27.4%減る

九州経済産業局が10日発表した6月の九州工業生産指数は前年同月比で27.4%減る



九州の工業生産は、前年同月比で27.4%減る。これは、自動車、機械、電気電子、化学、鉄鋼、非金属鉱物製品、食品、繊維、皮革、木材、紙、印刷、その他の工業生産が減少したためである。九州の工業生産は、前年同月比で27.4%減る。これは、自動車、機械、電気電子、化学、鉄鋼、非金属鉱物製品、食品、繊維、皮革、木材、紙、印刷、その他の工業生産が減少したためである。

響灘地区新規立地企業操業状況



将来貨物量推計を進めるうえでの課題

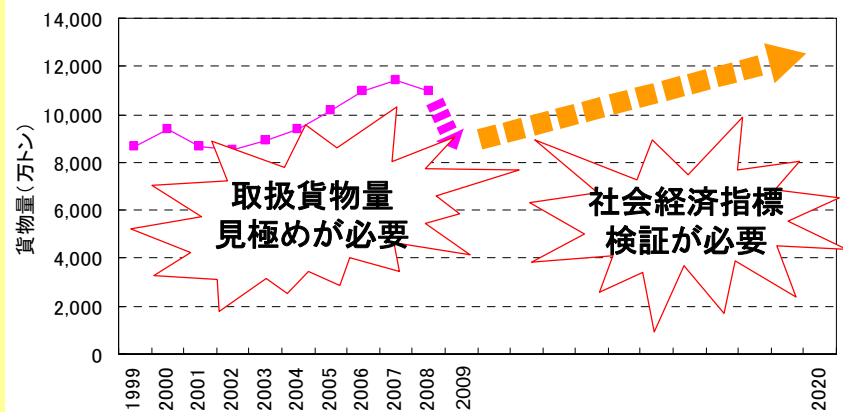
12

現在取扱貨物量

社会経済指標

それぞれ、将来貨物量を推計する
うえで、基準となる重要な数値。

昨年（2009年）の秋からの急速な経済情勢の変化により、現在の北九州港の貨物取扱量は、前年と比較して、大きく減少している。貨物取扱量はどの程度減少するのか。また、経済成長率も低下しており、経済好調時の社会経済指標の信頼性はどうか。

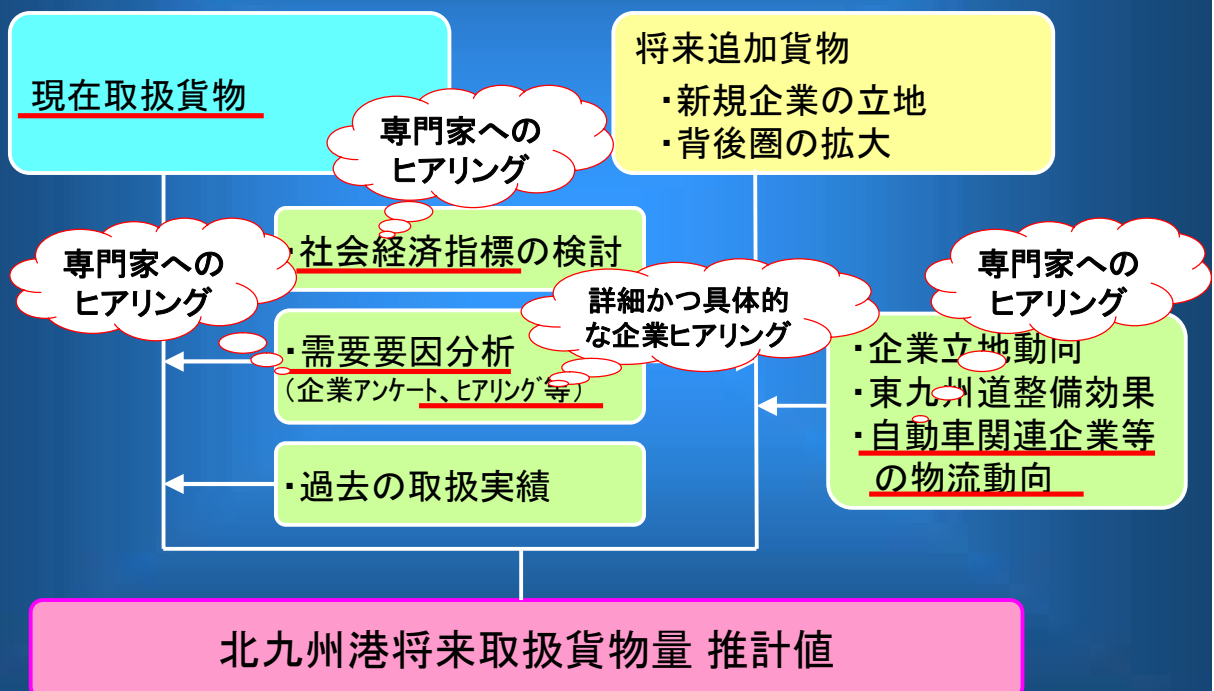


将来貨物量の推計に大きな影響を与える現在の取扱貨物量の動きの見極め及び社会経済指標の検証が必要である。

将来貨物量推計の精度向上

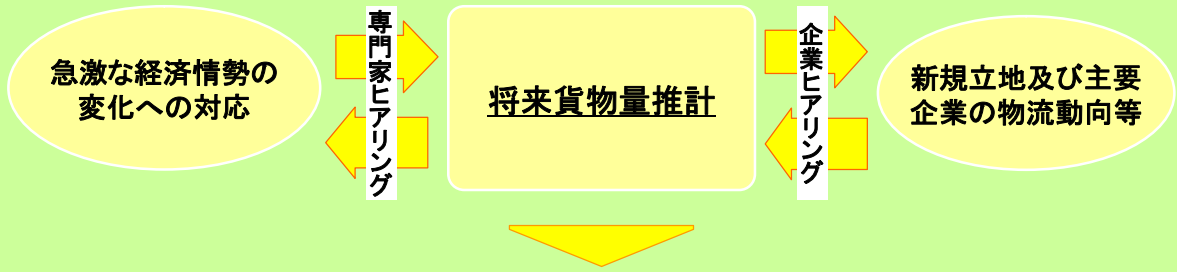
13

北九州港の将来貨物量推計方法



《専門部会》

- ・委員会の委員の中から、経済分野の専門家や学識経験者を中心に構成
- ・経済や物流関係の専門家をオブザーバーとして招聘
- ・年度内に2～3回程度開催



将来取扱貨物量推計を検証

報告

第4回北九州港長期構想検討委員会